

# 宮城野

MIYAGINO

## コロナ禍における防災訓練について

仙台市ガス局 総務部 馬場 敏大

仙台市ガス局は仙台市、多賀城市、名取市、富谷市、利府町、大和町及び大衡村に渡る約34万件のお客さまへ都市ガスを供給している国内最大の公営ガス事業者です。「お客さまに選ばれ続け、地域社会の発展に貢献するエネルギー事業者」を企業理念に掲げ、お客さまの安全と安心を最優先として安定的に都市ガスを供給するとともに、都市ガスをご使用いただくことを通じてお客さまに快適な暮らしと満足をお届けすべく、努めております。

安全・安心への取組みとしてガス管に耐震性・耐腐食性に優れたポリエチレン管を導入し、計画的な入れ替えを進めています。ポリエチレン管は東日本大震災においても被害がなく、早期の供給再開に寄与しました。また、東日本大震災では津波被害によって港工場の操業が停止したことを教訓として、津波の影響を受けない内陸側にパイプラインからガスを受け入れる「緊急時ガス受入設備(バックアップステーション)」を設置し、万一の大規模災害の際にもガス供給を継続できるよう備えています。

仙台市ガス局の本部機能がある幸町庁舎では約300名の職員が多数の協力会社社員とともに

お客さまの安全・安心を確保し、都市ガスを安定供給するために日夜業務に当たっております。確実に業務を遂行するためには自らの事業所における災害の予防及び発災時の被害軽減が重要であることから、消防法令の規定により自衛消防組織を整えるとともに、定期的に避難訓練や消火訓練を実施しております。新型コロナウイルス感染拡大により業務全般に様々な影響が生じる中、防災訓練の実施においても感染対策とのバランスを考慮する必要が生じました。令和2年度及び令和3年度は、密を避けるために避難及び消火訓練の参加者を制限して実施するとともに、仙台市防災安全協会様から提供を受けた消火設備の写真入りの説明資料を局内システムを用いて供覧することで、訓練の効果を補完しました。

令和4年度は感染対策を講じた上で3年ぶりに多くの職員が参加する訓練を実施し、防災意識の向上を図ったところです。

仙台市ガス局では設備の安全対策や防災訓練の実施を通じて安定した供給体制を実現し、一人でも多くのお客さまに快適な都市ガスをご利用いただけますよう、職員一丸となって着実に業務を推進して参ります。



ガス管入替工事



ポリエチレン管



バックアップステーション



人数を制限した消火訓練